

平成 28 年度
事業報告書

施設名：浦安市立浦安駅前保育園

平成 29 年 3 月 31 日
社会福祉法人茂原高師保育園
理事長 篠田 哲寿

1. 管理業務の実施状況

①保育時間

	保育標準時間	保育短時間
平日 土曜	7:31~18:30	8:31~16:30

②特別保育事業

乳児保育事業 (産休明け保育事業)	該当なし
延長保育事業	平日、土曜 7:00~7:30 18:31~19:00 ・延長保育利用状況については毎月の報告書参照
地域子育て支援センター 事業	相談、サークル育成支援、特別保育事業の普及促進
一時預かり事業	1日定員10名 非定型、緊急、私的利用を実施 ・利用状況は毎月の報告を参照

③クラス体制

- めばえ組…0歳児
- ふたば組…1歳児
- わかば組…2歳児
- しげり組…3歳児、4歳児
- みのり組…5歳児
- キッズ…地域子育て支援センター
- ちゃお…一時預かり

④園児数

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	5	9	11	11	12	12	60
28年4月	6	12	12	12	11	12	65
29年3月	6	12	12	12	11	12	65

2. 年間行事実施状況

4月	入園式 慣らし保育 スポーツ教室開始 英語教室開始 消防点検 ぎょう虫卵検査
5月	こどもの日の集い 青空給食 (3~5歳) 内科検診
6月	保育参観 保護者個別面談 歯科検診 尿検査 県指導監査
7月	七夕の集い 郷土博物館見学 (4歳、5歳) プール清掃 (5歳) プール遊び プール参観 (2~5歳)
8月	プール遊び プール参観 (2~5歳) 夏まつり デイサービス縁日交流 消防立入検査
9月	プール終了 プール納会 (3~5歳) 総合避難訓練 デイサービス敬老会 保健所指導監査
10月	運動会 消防点検 第三者評価
11月	親子遠足 (4歳、5歳) 園バス遠足 (2歳、3歳) 電車外出 (5歳) 内科検診
12月	クリスマス会 おみせやさんごっこ カレーパーティー (3~5歳) 歯科検診 ぎょう虫卵検査
1月	ピカピカキッズ 浦安小学校訪問 (5歳) 子育てサロン (支援センター)
2月	発表会 節分の集い 保護者保育参加 歯みがき指導 (3~5歳) 交通安全教室 (4歳、5歳) 浦安市指導監査
3月	お別れ会 卒園式 新年度説明会
毎月 実施	スポーツ教室 (3~5歳児、毎週) 英語教室 (2~5歳児、隔週) 体操体験 (2歳児) 誕生会 避難訓練 身体測定
その他	姉妹園交流会 デイサービス交流会 よみきかせ 園バス外出 エコキッズ活動 まなびサポート 実習生・職場体験・ボランティアの受け入れ

3. 運営費執行状況 (決算書)

別紙「決算書 平成28年度 (自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日」参照。

4. 評価および反省

(1) 児童処遇について

長時間過ごす子どもが多い保育園にとって、子どもの情緒を安定させることがとても大切なことと認識し、日頃から愛情を持って一人ひとりの子どもたちと関わるよう心がけています。「子どもは大人の真似をする」という言葉を意識し、保育者が率先して笑顔で挨拶するなど、生活における基本的なことを正しく子どもたちに見せられるよう努めていることで、園児たちにも挨拶などの習慣が浸透してきていると感じています。

3歳児以上児は姉妹園との交流会を定期的におこないました。園内でも0～5歳児クラスの縦のつながりを意識して異年齢交流の取り組みをしています。普段とは違う人や環境の中で活動をする機会を積極的に設け、クラス以外にも目を向けられるよう配慮しました。

5歳児は誕生会や運動会といった園行事の際に司会やお手伝いなど、人の前に立って話したり何かをしたりする機会を多く作りました。そうすることで見られていることを意識したり、緊張する中でも何かをやり遂げたりする経験ができました。

また、デイサービスセンターとの交流会も積極的に行いました。季節の行事や誕生会などの園行事に限らず、クラス単位でデイサービスへ行ってレクリエーションに参加したり、一緒に散歩に出かけたり、デイサービスの方に保育室へ来ていただいて一緒に過ごしたりと、日常的なかかわりを深めました。

以上のようにクラス間交流や世代間交流、他園との交流を取り入れることにより、多くの人と関わる機会が増えました。そうすることで、少人数制のクラス運営だけでは得ることのできなかつた経験をすることができ、活動の幅が広がったと感じています。

(2) 食育について

屋上に菜園を作り、幼児クラスは一年を通して様々な野菜を育てました。今年度は菜園を2か所に分けて、夏野菜と冬野菜の2種類を栽培しました。3～5歳児が担当し、種まきから毎日の水やりや観察、収穫して食べるまでの一連の栽培体験をしました。野菜嫌いの子も自分で収穫した野菜を食べることができるなど、食に対する意欲も高めることができた実感することができました。ただ、冬野菜はカラスの被害等もあって失敗してしまいましたが、それも野菜を育てることの難しさであり、あらためて食べ物大切さを学ぶことができました。

また、栄養士が園児たちへ定期的に食材紹介をしたり、園児と一緒に野菜の皮むきやお弁当作り、おやつ作りといった調理演習をしたりと楽しく食に対する関心を高められるような取り組みをすることができました。給食を自分たちでお弁当箱に詰めて遠足に行くなど、食育と保育を一体化するような企画を実施するこ

とで、子どもたちも意欲的に取り組めていました。

子育て支援センターでは、利用者を対象に栄養士による栄養相談やおやつ作り講座、離乳食講座などを行い、好評をいただきました。

(3) 保護者対応について

担任が保護者と顔を合わせる機会を多く作れるよう、職員のシフトや時間外保育のクラス編成を工夫しています。また、個別面談やアンケートを実施することにより、保護者の要望や意見、子育ての悩みなどを把握したうえで日々の保育に反映できるよう心がけました。

日頃から保護者とのコミュニケーションを大切にすることによって保護者との信頼関係を築き、安心してお子さまを預けていただけるよう努力していきたいと考えています。

日頃の活動内容は館内装飾や掲示物のほか、ホームページの写真ブログやクラスアルバムを通じて積極的に紹介しました。保育園の取り組みや園児たちの様子を保護者に伝えることにより、保護者の理解や協力を得られるよう努めています。今後も継続していくことで、保護者に信頼され安心していただける保育園を目指していきたいと考えています。

(4) 施設について

開設から13年が経過し、設備等に故障や不具合が生じるようになってきました。昨年度は厨房機器やボイラー入れ替えなどの大型修繕について、急きょ市に対応をお願いすることが多く発生したため、今後は計画的に対応できるよう心がけたいと思っています。

(5) 全般について

今年度は10月に第三者評価を実施しました。第三者評価に向け、正職およびパートも含めたすべての職種の代表から委員会を設置し、年度当初から準備をしてきました。委員会は月に2回程度実施し、保育や運営の見直しや検討をするほか、保護者アンケートも参考に自己評価を行ってきました。その結果、当園の魅力やアピールポイントを全職員が再確認できた反面、園や法人の抱える課題についても明確になりました。そこで、早速29年度に向けて園および法人内で課題の克服に向けた検討を行い、改善を図りました。今後も引き続き保育や運営の見直しや自己評価を行い、さらなる向上を目指していきたいと考えています。

昨年度の公開保育、今年度の第三者評価を経験し、自己評価の重要性を改めて感じました。30年度の保育指針改定に向けて29年度はさらに保育の質の向上や充実が必要となると考えています。職員一人ひとりが高い意識と向上心をもって保育の質をさらに高める努力をしていきたいと考えています。